

もしも遭遇したらどうする？

ヒグマの遭遇にご注意ください！



道内各地で熊が出没!!
市街地でも!?

今年に入ってから全道各地で熊の痕跡や目撃情報が相次いでいます。

また、農山村部だけではなく市街地での出没情報も寄せられています。

今年6月18日、札幌市東区の住宅街でヒグマが出没し、地域住民4人が襲われるといったニュースが道民に衝撃を与えました。

通報から約8時間後、猟友会によって捕獲されたヒグマは、体長約1.6m、体重約160kg、年齢4〜5歳の雄と判明しました。

春から初夏にかけて、ヒグマの繁殖期により雄が雌を探しまわり、軋（あつれき）を避け生息するエリアを離れたことが、市街地での出没要因と推測されています。

住宅街に出没したときには、猟友会による散弾銃が使用できないため駆除が困難になります。

剣淵町でも多くの
熊出没報告が!

剣淵町においても、ヒグマの痕跡や目撃情報が地域住民や警察、猟友会などから多数寄せられています。

今春から7月6日までの目撃情報が5件、足跡や糞などの痕跡が7件、計12件もの報告が寄せられています。

剣淵町でヒグマの痕跡などが多く寄せられているのは、東町や西岡町の山際のほか、剣淵川の堤防沿いなど範囲が広く、近隣に住宅があるような場所でも確認されています。

なお、剣淵町のヒグマ情報については、北海道のホームページや剣淵町のホームページで確認することができます。

ホームページについては、剣淵町、ヒグマ出没情報」で検索してください。

ヒグマとクマと遭遇したら

ヒグマも人間を避けようとするため遭遇することは少ないといわれています。

キャンプ中や山登りなど遭遇しやすい場所に訪れる場合は、特に注意が必要となります。

遭遇した場合は、慌てず落ち着いて行動するために、事前に生態を調べたり、熊避けグッズなどを携帯して方が一遭遇しても対処できるように備えましょう。



ヒグマと遭遇した時ポイント①

① 遠くでヒグマと遭遇した場合

かなり遠くにヒグマを発見し、ヒグマがこちらに気が付いていないようであれば物音を立てずに立ち去りましょう。

② 近くで遭遇した場合

20 ㊦以内などの近い距離で遭遇した場合は、ヒグマがパニックを起さないよう、とにかく大声を出さないことが重要です。

走って逃げる者に対し追って来る習性があるため、走ってはいけません。

ヒグマから視線をそらさず、ゆっくりと歩いて後退しましょう。山林であれば、熊が突進してこないよう、熊との間に木を挟むようにしましょう。

ヒグマがこちらの姿を認識しつつ近づいてくる場合は、腕を大きく振るなどして姿を大きく見せ、大声は出さずに穏やかに声掛けをします。

ヒグマが突進してきた時

① 熊よけスプレーを持っていない時

近距離で遭遇し、万が一突進された場合は、熊よけスプレーを鼻先に噴射しましょう。激臭によりヒグマを撃退できます。

木の棒などの武器も生存確率を高めます。

② 熊よけスプレーを持っていない時

防御態勢をとります。具体的には、両腕で頭を抱えるようにして頭部を守り、うつ伏せになって腹部を守ります。

山林に入る場合は、リュックを背負っているケースが多く、プロテクター代わりにもなります。

熊の突進には威嚇と攻撃の2パターンがあります

ヒグマが威嚇している場合は、途中で止まって後退します。焦って背を向けることはせず、落ち着いて行動することが大切です。

ヒグマの跡を見つけたら

役場農林課もしくはお近くの警察署までご連絡ください。

相互で情報を共有し、現場状況を確認し猟友会による箱罠の設置など対策を実施します。

地域住民への注意喚起の放送も行います。

◇ヒグマ出没に関する連絡先

役場農林課

電話 26 - 9022

士別警察剣淵駐在所

電話 34 - 2131

